



コウノトリ悠然と舞う豊岡の将来像 ～豊岡市総合計画～

豊岡市

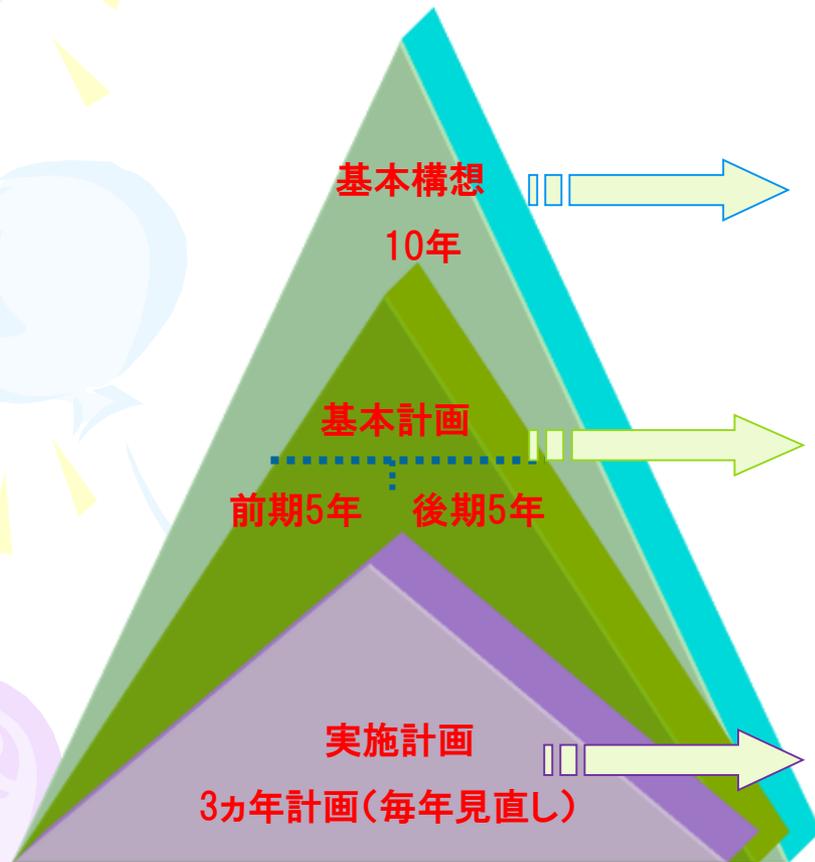
「総合計画」ってなに？



「総合計画」とは...

- 将来豊岡市をどのような「まち」にしていくのかを総合的、体系的にまとめた長期的な計画
- まちづくりの最上位計画。地域のめざすべき姿を明確にし、政策・施策・事務事業全般にわたり網羅的に掲げるもの

総合計画は3層構造



基本構想

向こう10年間に目指すべき「まちの将来像」を明らかに(H19～H28年度)

基本計画（前期・後期）

基本構想に基づき、具体的な施策を分野別に体系化

前期:H19～H23年度

後期:H24～H28年度(H24.3月策定)

実施計画

基本計画の施策を予算と関連づけ

めざす3つの「まちの将来像」

- 1** 人々が四季の移り変わりの中で安心と懐かしさ、地域への深い愛着を感じることでできるまち
- 2** 自然や歴史、伝統や文化を大切にし、穏やかさと安らぎに満ちた持続可能なまち
- 3** 人々が大いなる夢と希望を抱きながら活躍し、元気と賑わいがあふれるまち

 そして「小さな世界都市」へ

3つの将来像を実現する 3つのテーマ



安全と安心を築く ～すべての基礎～

自然との適合・コミュニティの活性化・交流の促進・保健
・医療・福祉の連携



地域経済を元気にする ～自立の基礎～

環境経済戦略の推進・内発的発展・交流による活性化・
基盤の整備



人と文化を育てる ～まちづくりの原動力～

子育て支援・ふるさとの創造・生涯学習の推進・伝統の尊
重と革新

まちの将来像を実現するための 進め方

○豊岡モデルの展開（※次ページ参照）

様々な分野の様々な取組みを有機的に連携させ、その連携を拡大させながら協働してまちづくりを進めるという、まちづくりのプログラム

○参画と協働

まちに暮らす人々、ボランティア、NPO、各種団体、企業などの多様な主体と一緒に、「ともに考え」「ともに取組み」「ともに創る」ことを目指す

○特色ある地域の成長と連携

個性を持った6つの地域をより輝かせるために、各地域の特性、資源、人材、地域独自の仕組みを活かしさらに成長させる

豊岡モデルの展開

まちの将来像を実現するための進め方

プログラム3

プログラム2

プログラム1

コウノリの
保護・増殖
コウノリ
野生復帰

コウノリも
住める環境

環境と経済
の共鳴

“知”の集積

保護・増殖

保護・増殖

自然放鳥

保護・増殖

自然放鳥

環境の創造

保護・増殖

自然放鳥

環境の創造

経済

保護・増殖

自然放鳥

環境の創造

経済

“知”の集積

特色ある地域の成長と連携

〔豊岡地域〕

豊岡市全体の中核的機能

- ・集積した都市的機能
- ・先導的な環境創造の拠点機能

〔城崎地域〕

“癒し”を感じられる地域づくり

- ・古より脈々とわき出る温泉
- ・情緒豊かなまち並み
- ・ゆったりと時が流れる風景

〔竹野地域〕

森・川・海の恵み多きふるさとの自然
人と自然が調和した地域づくり

〔日高地域〕

スポーツの躍動感と四季の移り変わりを
感じる地域づくり

- ・資源豊かな高原と清流
- ・古代から受け継がれた歴史

〔出石地域〕

培われてきた歴史と伝統のまち並み
人をひきつける魅力あふれる地域づくり

〔但東地域〕

訪れる人が“温もり”を実感できる地域
づくり

- ・豊かな自然・風土
- ・人々が育んだ恵み

5つの分野別の取組み方針

～3つのテーマの具体化に向けて～

1. 安全に安心して暮らせるまち
2. 人と自然が共生するまち
3. 持続可能な「力」を高めるまち
4. 未来を拓く人を育むまち
5. 人生を楽しみお互いを支えあうまち



後期基本計画(H24～H28)では、 5年後の目標値を設定しました

- 1 目標値は、どれだけ事務事業を行うという量ではなく、事務事業を実施することで、5年後にどれだけまちがよくなるかを示したものの。
- 2 市民の視点で見た成果ということから、できるだけ計画の進捗を実感しやすいものを目標項目として選択。
- 3 具体的に数値で表せるものは数値を、数値で表しにくいものは「⇒」で表した。

1.安全に安心して暮らせるまち

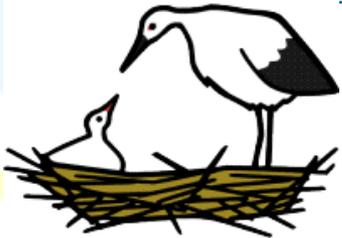
小項目 (施策)	細項目 (基本施策)	目標項目	現状値 (平成22年度)	目標値(平成28年度) (H26年度末の状況)
防災減災力の向上	②防災・危機管理体制の充実	民間住宅の耐震化率	50.4%	90.0% (65.5%)
	③地域防災力の強化	自主防災組織訓練などの実施率 (毎年実施の訓練)	21.4%	70.0% (37.5%)
消防・救急体制の充実	②火災予防対策の充実	住宅用火災警報器設置	47%	100% (89.5%)
健康づくりの推進	①生活習慣予防の支援	健康教室参加者数	6,257人	8,000人 (5,409人)
	④地域での健康づくりの推進	運動普及サポーター養成研修会修了者数	46人	120人 (27人)



小項目 (施策)	細項目 (基本施策)	目標項目	現状値 (平成22年度)	目標値(平成28年度) (H26年度末の状況)
医療環境の 充実	②医療体制の充 実	AEDを設置している 公的機関	216カ所	300カ所以上 (314ヶ所)
障害者福祉 の充実	③相談支援体制 の充実	障害者相談支援事業 所数	2ヶ所	3カ所 (3カ所)
社会保障の 適正実施	③低所得者福祉 の適正実施	生活保護世帯数及び 人員	336世帯 446人	330世帯 (370世帯) 440人 (472人)



2.人と自然が共生するまち

小項目 (施策)	細項目 (基本施策)	目標項目	現状値 (平成22年度)	目標値(平成28年度) (H26年度末の状況)
 コウノトリと共生する豊かな自然の保存・再生・創造	①コウノトリの野生復帰の推進	コウノトリの定着数 (市内にいる個体)	40羽	50羽 (70羽)
	②生物多様性の保全	造成湿地面積(大規模造成湿地、放鳥拠点湿地、休耕田等活用湿地など) (注)冬季湛水水田を除く	43.5ha	65.0ha (43.8ha)
循環型社会の構築	①ごみの減量・再資源化の推進	市民1人1日当りのごみ排出量	967g	⇒(減少) (1,012g)



小項目 (施策)	細項目 (基本施策)	目標項目	現状値 (平成22年度)	目標値(平成28年度) (H26年度末の状況)
水道・下水道 の整備	①水道の整備	基幹管路の耐震化率 (水道)	6.0%	10.0% (7.8%)
	②下水道の整備	水洗化率	89.8%	95.0% (91.9%)



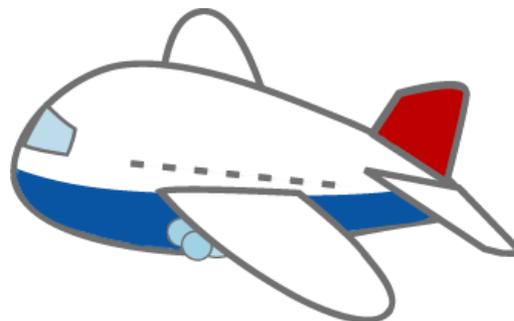
3. 持続可能な「力」を高めるまち

小項目 (施策)	細項目 (基本施策)	目標項目	現状値 (平成22年度)	目標値(平成28年度) (H26年度末の状況)
情報発信戦略の推進	①情報発信媒体への情報提供と支援	豊岡の認知度(理解度)	14.4% 日系リサーチ「地域戦略ブランドサーベイ」より	25.0% (21.3%)
	②インターネット技術による情報発信			
	③イベントを通じた情報発信			
観光の振興	①観光資源の充実と活用	観光客入込数	4,733千人 (平成21年度)	5,200千人 (平成31年度) (4,479人)

小項目 (施策)	細項目 (基本施策)	目標項目	現状値 (平成22年度)	目標値(平成28年度) (H26年度末の状況)
観光の振興	①観光資源の充実と活用	宿泊客数	1,148千人 (平成21年度)	1,700千人 (平成31年度) (1,239人)
農業の振興	①環境創造型農業の推進	コウノトリ育む農法栽培面積(水稲)	220ha	⇒(増加) (292.7ha)
	③農業の担い手への支援	認定農業者数	113経営体	150経営体 (134経営体)
	④野生動物対策の推進	野生動物育成林整備面積(累計)	93ha (3カ所)	153ha(5カ所) (136.00ha) (6カ所)
工業の振興	①企業の誘致	企業誘致数	6社 (平成23年度)	11社 (年間1社) (9社)



小項目 (施策)	細項目 (基本施策)	目標項目	現状値 (平成22年度)	目標値(平成28年度) (H26年度末の状況)
	④新たな産業の 創出と育成	製造品出荷額等(従 業員4人以上の事業 所)	1,033億円 (平成21年度)	1,300億円以上 (平成31年度) (1,158億円) (H25年度)
雇用対策の 推進	①企業情報の提 供と雇用機会の 充実、雇用の拡 大	市内高校生等の地元 就職率(但馬技術大 学校含む)	44% (平成21年度)	80%以上 (平成31年度) (42.9%)
公共交通の 充実	②但馬空港の利 用促進と利便性 の向上	コウノトリ但馬空港 搭乗者数	27,995人	32,000人 (29,082人)



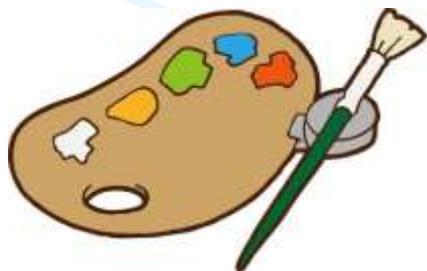
4.未来を拓く人を育むまち

小項目 (施策)	細項目 (基本施策)	目標項目	現状値 (平成22年度)	目標値(平成28年度) (H26年度末の状況)
子育て環境 の充実	④児童の育成環 境の整備	放課後児童クラブの 設置箇所数	26カ所	30カ所 (29カ所)
教育環境の 充実	①学校施設整備 の推進	学校施設の耐震化率	72.8%	100% (97.0%)
		校庭の芝生化実施 率(中学校は除く)	37.5%	100% (81.3%)
ふるさとを愛 する心の育成	①ふるさとを愛す る教育の推進	ふるさと学習の実施 校数	44校	47校 (50校)



5. 人生を楽しみお互いを支えあうまち

小項目 (施策)	細項目 (基本施策)	目標項目	現状値 (平成22年度)	目標値(平成28年度) (H26年度末の状況)
生涯学習環境の推進	②生涯学習環境の整備	図書館利用者数	239,063人	253,000人 (225,097人)
芸術文化の振興と文化財保護	②文化施設事業の充実	文化施設(美術館・博物館など)の入館者数	353,466人	371,000人 (352,165人)
生涯スポーツの推進	③スポーツによる大交流の推進	競技スポーツ大会などの誘致数	年間4大会	年間5大会程度 (4大会)



6.基本計画の実現に向けて

小項目 (施策)	細項目 (基本施策)	目標項目	現状値 (平成22年度)	目標値(平成28年度) (H26年度末の状況)
市民・行政パートナーシップ	参画と協働の推進	地域やNPOなどとの協働事業	9事業	15事業 (23事業)
男女共同参画社会づくり推進	①男女共同参画プランの推進	審議会などへの女性の参加率	28.2%	50.0% (29.8%)
効率的、効果的な行政組織の構築	②人事管理の適正化	職員数	956人	864人 (882人)
効率的、効果的な行財政運営の推進	①持続可能な財政運営の確立	経常収支比率	87.0%	90.0%以下 (88.8%)



小項目 (施策)	細項目 (基本施策)	目標項目	現状値 (平成22年度)	目標値(平成28年度) (H26年度末の状況)
効率的、効果的な行財政運営の推進	①持続可能な財政運営の確立	実質公債費比率	18.8%	14.9% (13.9%)
		市民一人当たりの地方債残高	678千円 実質負担額 278千円	741千円 (718千円) 実質負担額 278千円以下



豊岡のまちづくりの基礎に置くべき基本理念

平成24年6月

『いのちへの共感に満ちたまちづくり条例』制定

1 まちづくりの基本とすること

- ・いのちは限られている（いのちを大切にする）
- ・いのちは支えあっている（支え合う）
- ・いのちはつながっている（未来へつなぐ）

2 取組みへ広げる5つの柱

- ① いのちを守るまちづくり
- ② 一人一人を尊重するまちづくり
- ③ ふるさとを愛するまちづくり
- ④ 挑戦する心を育むまちづくり
- ⑤ 人と生きものが共生するまちづくり